

Title	パッケージソフトウェア産業のチャネル・システム
Sub Title	
Author	尹勇チヨル 嶋口充輝
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1989
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1989年度経営学 第728号 複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001989-0728">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001989-0728</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名 尹 勇 詰  
(汎亜情報System)  
所属ゼミナール 嶋 口 充 輝 研

主査 嶋 口 充 輝  
副査 柳 原 一 夫  
青 井 倫 一

## パッケージソフトウェア産業のチャンネル・システム

本論は社会システムとしてのチャンネル・システムを研究対象とし、とくに新しい業界であるパッケージソフトウェア業界のソフトハウスと流通業者を単位とするチャンネル・システムを、マーケティング論の視点からパワー発生とその交換関係について、特に環境不確実性吸収仮説を背景にして研究を進めた。

第一に、環境不確実性と統制の水準に対するいくつかの考え方の中で、この業界における適切なものが何かを確認する。第二に、ソフトハウスのパワー、とくに情報のパワーと統制の水準との関係を確認する。第三に、環境不確実性とソフトハウスの情報のパワーとの交互作用による統制の水準との関係を確認する。最後に、満足度と統制の水準との関係を探る。

第一の課題に対してはパッケージソフトウェア業界の環境不確実性が高まるにつれてソフトハウスの統制の水準は低くなるのが確認された。つまり、環境不確実性と統制の水準とはマイナスの関係を持っている。第二の仮説に対しては、パワーと統制の水準に低い正の関係があるものの、情報パワーの統制の水準に対する影響力は確認できなかった。そして、第三の交互作用の仮説は統制の水準が情報パワーに依存するのではなくて、環境に依存しているとの結論がでた。最後の統制の水準と満足度の関係を調べたが、有為な関係はなかった。

これらの結論に対して考えられるのは、この業界が流通主導型であって、情報パワーに対して製造業者と流通業者との間で格差が大き過ぎることである。それが、設けられた仮説がきかなかつた理由だと考えられる。このような構造が変わると設けられた仮説での関係になると考えられる。